

平成23年度 第4回 二宮町男女共同参画プラン推進連絡会 会議録

1. 日 時

平成23年12月14日（月）午後3時00分 ～ 午後4時30分

2. 場 所

二宮町役場 2階 第1会議室（神奈川県中郡二宮町二宮 961 番地）

3. 出 席 者

- ・二宮町男女共同参画プラン推進連絡会委員
高橋会長 飯島副会長
小林委員 原委員 西山委員 伊藤委員 池田委員
高見委員 井上委員
- ・事務局（二宮町政策部企画財政課）
秋澤課長 林班長 山口主任主事
- ・傍聴者希望者
なし

4. 議 題

- (1) アンケート調査結果報告書（完成版）の概要について
- (2) 第2次 にのみや男女共同参画プラン（骨子案）について
- (3) 推進連絡会による推進活動の検討について
 - ・広報にのみや（11月号）
 - ・地域組織への出前講座
- (4) その他

【説明等】

- ・ 前回のグラフに概要を加えたアンケート完成版を作成した。町ホームページでは全てを掲載している。概要はグラフから読み取れる事実のみ記載した。この結果を次期プランに反映したい。
- ・ プランの具体的な内容を検討する前に、全体的なイメージを持ってもらうため、骨子案では「構成（目次）」と「整理・検討のポイント」を資料とした。「将来像」や「基本理念」等について意見があれば1月20日（金）までにご報告いただきたい。
- ・ 広報にのみや（11月号）に啓発記事を無事掲載することができた。限られたスペースで、伝えたいことをわかりやすく伝えるのは難しい。委員が男女共同を考える良い機会になるので今後も続けていきたい。

- ・ 地域組織への出前講座については、緑が丘地区から「防災（AED講習）」であれば、参加してみたいという意向があった。「女性防災隊」に協力いただくことで調整がついたので、2月27日（月）に開催する運びとなった。緑が丘では「社会福祉協議会イベント（緑が丘サロン）」が月に2回開催されており、そのイベントに出向いて男女共同参画の啓発を図ることとなる。地域への調整については、緑が丘の地区長に協力いただくこととなっている。当日ご協力いただける方には役割を振り分けていきたい。トークテーマは「災害時における女性の視点の重要性」を案としている。
- ・ 委員の改選があったので、「委員相互連絡用名簿」を修正した。個人情報となるので、取り扱いや管理には十分ご注意いただきたい。

【意見等】

- ・ 町民がこの結果を見る機会はどのようなものが用意されているか。→町ホームページと先に掲載した広報のみとなっている。
- ・ もっと町民の目に触れるように町の施設等にも冊子を置くとよい。
- ・ グラフもカラーに変えてはどうか。→そのようにする。
- ・ 回収率 33.6%は少ないのか。→回収率としてはまずまずの値。
- ・ 保育・介護サービスの充実を求めるニーズが多いが、町に待機児童はいるのか。→現在は0件となっている。
- ・ アンケート結果はどのように反映されるのか。→前回の調査結果との比較や、町民に求められている取組みのニーズ等を分析し、次期プランを検討する際の材料としたい。
- ・ 町の取組みの認知率が低いが取組みの紹介をしてはどうか。→シンボルマークを活用してPRしていきたい
- ・ 「前回調査との意識の比較」に見られる意識の変化等については、「社会の変化と町の現状」の中で表わすとよい。
- ・ 「福祉」や「高齢障がい」に関する取組みについては、高齢化が深刻化する中で重要になると思う。町の高齢化の状況はどうか。→65歳以上の高齢者の人口が増加しており、生産年齢人口及び年少人口は減少の傾向にある。二宮町の状況は全国的に見ても顕著である。町全体での高齢化率27%程だが、高齢化が進んでいる百合が丘や富士見が丘等の地域では40%を超えている状況にある。
- ・ 町を活性化させるためには、若い世代の流入が不可欠と思う。
- ・ 子育て世代の流入を図るため、「幸福度」を高めるような施策ができるとよい。若い世代が安心して暮らせる町を目指すことも必要となる。

- DVの暴力は女性に限ったものではないので、表現の方法をどちらの性別にも取れるようにした方がよい。
- 「女性への暴力」が圧倒的に多い状況を踏まえての取組みなので、あえて「女性」と出すことにも意味があると思う。→どちらの意見も踏まえ、他市町や県の取組みも勘案して表現を決めていきたいと思う。
- 「重点目標」は基本の柱となる部分と思うが、言葉の定義はどのようになっているか。→国、県、他市町村のプランを調べたところ、プランの体系はさまざまに明確な定義はない。現行のプランは「基本目標」、「プラン」、「個別施策」で構成されているが、町の総合長期プランとも表現が異なるので、県のプランの表現に合わせて案を作成した。
- 「重点目標」という表現だと、重点的に取り組む「目標」と、それ以外の「目標」とがあるように感じる。→町の総合長期プランの表現も考慮してわかりやすいものとするよう努める。
- 出前講座のテーマについては事務局案のままでよいと思う。
- 女性や定年を迎えた方の参加が多いことが予想される。人集めには「いざ、大切な家族を救うのは貴女（アナタ）です」といったようなやわらかく、女性の興味を惹きやすい表題とした方がよい。
- 救命講習は、老若男女問わず必要な技術であるということ、性別による役割分担意識解消に向けた突破口として話を進められるとよい。
- 災害に対する危機感や臨場感を高めるため、災害時の写真等を出してはどうか。→被災地支援の写真画像をパネルにして展示する。
- 緑が丘サロンにはどの程度の人が集まるのか。→普段でも20～30人の参加がある。関心の惹くテーマなので、多くの参加者があると思う。
- クチコミが一番多く人を集められるので、地区長から声掛けしてもらえようをお願いしておくとうよい。→他にもチラシを広報掲示板に掲示すること等もできるので、大城地区長と調整しておく。

5. 決定事項

- 平成23年度 第4回 二宮町男女共同参画プラン推進連絡会の公開の決定。
 - ※ 『資料3-4（名簿）』は公開しない。
- 「二宮町男女共同参画に関するアンケート調査結果（完全版）」の公表
 - ※ グラフをモノクロからカラーとする。
 - ※ 町内施設に冊子を配架して閲覧できるようにする。
- 「(仮称) 第2次 にのみや男女共同参画プラン（骨子案）」への意見提案
 - ※ 平成24年1月20日（金）までに事務局に意見を報告する。

- ※ 「将来像（スローガン）」については、『〇〇〇〇なまち 湘南にのみや』の形で考える。
- ※ 「基本理念」については、案をたたき台に「他に加えるべきと思う施策」や「町にはそぐわないと思う施策」等を提案する。
- ・ 「(仮称) 第2次 にのみや男女共同参画プラン（素案）」の策定
- ・ 地域組織への出前講座の実施（緑が丘地区）
 - ※ 開催日時：平成24年2月27日（月）午後2時30分～
 - 開催場所：緑が丘防災コミュニティセンター
 - ※ 周知用表題：「いざという時大切な家族を救うのは貴女（アナタ）です」
 - ※ 役割分担は参加できる委員に役割を振り分け、改めて連絡する。
- ・ 推進連絡会委員名簿（委員相互連絡用）の更新
- ・ 第5回推進連絡会の開催日時の決定。
 - ※ 平成24年2月20日（月）午後3時00分～午後5時00分